

♪ **赤松 林太郎：ピアニスト、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授（A本選）**

全日本学生音楽コンクール第1位、クララ・シューマン国際ピアノコンクール第3位をはじめ、国際コンクールでの受賞多数。神戸大学卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得。国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、台湾、コロンビアなどを公演で回る。キングインターナショナルから5枚のCDをリリース。新刊として『赤松林太郎 虹のように』を出版（道と書院）。1,000名以上の指導に携わり、多くの受賞者を輩出している（PTNA 特級グランプリ・銀賞・銅賞、東京音楽コンクール優勝、他多数の国際コンクール）。ヨーロッパ各国にて国際コンクールの審査員やマスタークラスを務める。

現在、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員、ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授、カシオ計算機株式会社アンバサダー。http://rintaro.jp/

♪ **岡田 敦子：ピアニスト、東京音楽大学教授（A予選・本選、Bコース）**

東京芸術大学大学院博士課程（ピアノ専攻）修了。学術博士。第22回全日本学生音楽コンクール中学生の部西部地区第2位。第47回読売新聞社主催新人演奏会出演。京都市立芸術大学助教授、東京芸術大学非常勤講師、沖縄県立芸術大学非常勤講師を経て、現在、東京音楽大学教授、日本ピアノ教育連盟評議員。

海外ではスクリャービン国際ピアノコンクール（イタリア）、ワシントン・ピアノ・フェスティバル・コンクール、国内では日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール、飯塚新人音楽コンクール、埼玉ピアノ・コンクール、等の審査員を務める。

末永博子、原田吉雄、伊達純、ウラジーミル・トロップの各氏に師事。演奏のみならず、評論や研究の分野でも活躍。とりわけスクリャービンの演奏と研究では国際的に認められ、「スクリャービン生誕125周年記念音楽祭」（モスクワ）や「シヨパン没後150年記念第2回国際会議」（ワルシャワ）などに招かれ、演奏や講演を行う。指導者としても日本音楽コンクール優勝者（2003年、2011年）などを輩出し、ヴァルティゼール夏期アカデミー（フランス）やワシントン・ピアノ・フェスティバル（アメリカ）などの講師に招かれている。校訂楽譜に『スクリャービン・ピアノ曲全集』（春秋社）、『新編世界音楽全集—ロシア・ピアノ曲集1、2』（音楽之友社）、著書に『瞬間は永遠のなかに—世紀末のピアノズム』（作品社）などがある。『スクリャービン・ピアノ曲全集』はモスクワのスクリャービン博物館にも収蔵されている。

♪ **垣内 敦：ピアニスト、エリザベト音楽大学准教授（A予選、Bコース）**

桐朋学園高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽部を卒業。その後ライプツィヒ音楽大学（ドイツ）および大学院を最優秀で卒業。1997年にフランス・リスト国際ピアノコンクール（ワイマール）にてファイナリストとして名誉ディプロムを、1998年には第44回マリア・カナルス国際音楽コンクール（バルセロナ）にて特別メダルを受賞。ドイツ各地でソロリサイタル、室内楽ならびにオーケストラとの共演等の活動を行う。

これまでに東京文化会館や王子ホール等において東京での自主リサイタルを開催のほか、毎年夏にはイタリアでの「ローマの夏音楽祭」に出演。また、フルートのアンドレアス・ブラウ氏をはじめとするベルリンフィルメンバー、チェロのフランツ・バルトロメイ氏など内外の著名な音楽家との共演など、ソロ・室内楽両分野において国内外で精力的に演奏活動を行っている。またコンクール審査や学校コンサート、講座などの教育活動も積極的にやっている。

現在はエリザベト音楽大学准教授ならびに桐朋学園大学音楽部非常勤講師を務め、後進の指導にもあたっている。これまでに、太田敬子、西江恵子、村上弦一郎、小森谷泉、ゲアハルト・エルバーの各氏に師事。

♪ **堺 康馬：ピアニスト、武蔵野音楽大学教授（A予選・本選、Bコース）**

福岡県立大牟田南高等学校、武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。クロイツァー賞受賞。ドイツ・エッセン音楽大学を経てベルリン芸術大学を最優秀の成績で卒業。

これまでにリサイタルの他に、武蔵野音楽大学管弦楽団、同大学ウィンドアンサンブル、および東京交響楽団とのピアノ協奏曲の共演や、ピアノデュオ・室内楽・伴奏の分野でも幅広く活躍し、各地で好評を博している。

池田章子、藪博之、福井直敬、栗田和雄、新井眞澄、K.ヘルヴィツヒ、G.ヴァンヤヘーリの諸氏に師事。

現在、武蔵野音楽大学教授。埼玉ピアノコンクール実行委員会理事、ヤングアーチストピアノコンクール審査員。

♪ **原 博子：ピアニスト、福岡教育大学講師（A予選、Bコース）**

東京芸術大学ピアノ科及び同大学大学院修了。1985年より国際ロータリー財団の奨学生としてシュツットガルト国立音楽大学に留学。同大学を首席で卒業。第30回全日本学生音楽コンクール西日本大会高校の部1位。第51回日本音楽コンクール入選。マルサラ国際ピアノコンクール入賞。1988年帰国後は東京、大阪、名古屋、和歌山などでのソロリサイタルを行うほか、大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、愛知シンフォニエッタ、和歌山市交響楽団との共演を行う。和歌山青年会議所文化振興基金「アゼリア賞」、和歌山市文化奨励賞受賞。

出口美智子、井口秋子、小林仁、リーゼロッテ・ギールの各氏に師事。最近では、サロンコンサートのほかピティナステップでのトークコンサートも務める。さらに後進の育成にも情熱を注ぎ、全日本学生音楽コンクール北九州大会、ピティナ、フツベル鳥栖コンクールなどの審査員、大阪国際音楽コンクール福岡事務局も務める。現在、福岡教育大学講師。

♪ **横山 幸雄：ピアニスト、エリザベト音楽大学客員教授、名古屋芸術大学特別客員教授、日本パデレフスキ協会会長（A本選）**

1990年シヨパン国際コンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞し、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞など数多くの賞を受賞。2010年ポーランド政府より、シヨパンの作品に対して特に顕著な芸術活動を行った世界で100名の芸術家に贈られる「シヨパン・パスポート」が授与される。同年166曲の、2011年に212曲のシヨパンのピアノ独奏曲を1日で演奏し、ギネス世界記録に認定された。2013年からベートーヴェン生誕250周年に向けて「ベートーヴェン・プラス」をスタートさせるなど、意欲的な企画に多数取り組んでいる。

CDは、文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、国際F.リスト賞レコードグランプリ最優秀賞等栄えある賞を受賞。2018年には「ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番/他」（共演：下野竜也指揮/新日本フィル）、11月に「パデレフスキ：ピアノ名曲集」、12月に「ドビュッシー：前奏曲第1集・第2集（全24曲）」と相次いでリリース。

東京と京都にレストランをオープンし音楽と旬の食をプロデュースするなど、活躍は多岐にわたる。

エリザベト音楽大学客員教授、日本パデレフスキ協会会長。2019年4月より名古屋芸術大学特別客員教授に就任。

横山幸雄オフィシャル・ホームページ <http://yokoyamayukio.net/>